

令和7年度愛知県・西尾市津波・地震防災訓練実施要綱（抜粋）

1 目的

平成23年3月11日の東日本大震災においては、東北地方沿岸部を中心に津波による甚大な被害が発生した。この地域でも南海トラフ地震の発生が危惧され、県民の関心も高まっている。

そのため、大規模地震及びこれに伴う津波を想定し、無線などで住民に避難を呼びかけ、高台や避難場所への避難訓練などを行うことによって、実際に津波が発生した際に迅速な行動ができるよう意識付けを行う。

さらに、国や県、市などの行政機関と自主防災会等が合同で訓練を行うことにより、地震及び津波被害時における総合防災体制の確立及び県民の防災意識の高揚を図る。

2 日時

令和8年1月25日（日） 午前9時から午前11時30分（予定）まで
※開会式は午前8時45分から（予定）

3 場所

開会式会場：愛宕神社（西尾市一色町治明宮後92番地）

メイン会場：西尾市立西尾小学校（西尾市錦城町162番地1）

西尾市立西尾幼稚園（西尾市錦城町162番地13）

サブ会場：ゼロメートル地帯広域防災活動拠点（西尾市行用町見セ田）

西尾公園総合グラウンド（西尾市山下町泡原70）

治明地区津波避難タワー（西尾市一色町治明九平山42）

岡崎市矢作体育館（岡崎市宇頭町小藪49番地）

4 主唱

愛知県防災会議、西尾市防災会議

5 主催

愛知県、西尾市

6 参加機関

愛知県、愛知県警察、西尾市、西尾市消防本部、西尾市消防団、自衛隊、岡崎市、指定地方行政機関、防災関係機関、医療関係機関、指定公共機関、指定地方公共機関、自主防災会、ボランティア団体、地域住民 等

7 訓練テーマ及び重点事項

（1）訓練テーマ

「つながる力、守る命、地域一丸の防災力」

(2) 重点事項

- ・津波からの避難訓練
- ・震災救助訓練
- ・津波避難タワーを活用した訓練
- ・ゼロメートル地帯広域防災活動拠点を活用した訓練
- ・救護所設置訓練
- ・近隣市協力による広域避難訓練
- ・要配慮者支援避難訓練

8 訓練想定

(1) 想定災害

南海トラフ地震及び大津波

(2) 状況

令和8年1月25日（日）、駿河湾から日向灘を震源域とした大規模な地震が発生した。東海地方から西日本の広い範囲で非常に激しく揺れ、西尾市では最大震度7を観測し、地震発生直後、気象庁は愛知県外海及び伊勢・三河湾に「大津波警報」を発表した。

9 訓練内容

- (1) 住民が、大津波警報発表に伴い、避難場所へ向け避難訓練を実施する。
- (2) 地震による揺れや津波による被害発生後の状況を前提に、要救助者救出や消火訓練、避難所運営訓練等を実施する。

10 訓練の中止について

中止する場合の判断目安は次のとおりとする。

- (1) 県内の一部又は全域に大雨、洪水、暴風、高潮、暴風雪の警報又は大雨、暴風、高潮、波浪、大雪、暴風雪の特別警報、「伊勢・三河湾」又は「愛知県外海」における津波警報又は特別警報（大津波警報）のいずれかが発表され、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合
- (2) 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合
- (3) 県内で震度5弱以上、又は西尾市で震度4以上の地震が発生し、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合
- (4) 弾道ミサイルとみられる飛翔体の発射情報がJアラートにより愛知県に伝達され、かつ県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合
- (5) 大規模事故等の発生、気象状況により、一部の訓練内容を変更又は中止することがある。